

平成28年度

協働のまちづくりフォーラム
つながりひろがる地域づくり事業成果発表会



平成29年3月18日（土） 13：30～16：00
安曇野市役所本庁舎 4階 大会議室

安曇野市



平成 28 年度 協働のまちづくりフォーラム

つながりひろがる地域づくり事業成果発表会

- 日 時 平成 29 年 3 月 18 日 (土) 13:30~16:00
- 会 場 安曇野市役所本庁舎 4 階 大会議室

【プログラム】

- 1 開 会 (13:30)
- 2 市長あいさつ
- 3 第 1 部 「協働のまちづくりフォーラム」 (13:35)

●基調講演

演題 「地域資源を活かした市民主体のまちづくり」

講師 茅野 恒秀 先生



◆講師プロフィール◆

茅野恒秀 (ちの つねひで) 先生
信州大学人文学部准教授。法政大学
大学院を卒業後、岩手県立大学総合
政策学部准教授を経て、現職に至
る。専攻は、環境社会学・地域社会
学。環境問題・地域問題に関する実
証研究を行っている。著書に「環境
政策と環境運動の社会学：自然保護
問題における解決過程および政策
課題設定メカニズムの中範囲理論」
(ハーベスト社) など。





4 第2部「つながりひろがる地域づくり事業成果発表会」

(15:00)

- ①「とよしな女声合唱団 10周年記念事業」 目的型組織 No.7
(とよしな女声合唱団)
- ・『花の街』 愛唱歌より
作詞：江間 章子 作曲：団 伊玖磨
 - ・『誰もいない福島』 つぶてソング第1集より
詩：和合 亮一 作曲・編曲：新実 徳英
 - ・『春のたより』 飯沼信義 作品より
作詞：土肥 武
- ②「今年度の『食の寺子屋 給食部』の活動について」 目的型組織 No.19
(食の寺子屋 給食部)
- ③「高齢者外出支援」 目的型組織 No.17
(NPO 法人 からだ堂)
- ④「世界にやさしいまち、安曇野を目指して」 目的型組織 No.6
(あづみの国際化ネットワーク)

5 閉会 (16:00)

< 展示発表 >

- ・アルプス区高齢化を考える会
- ・三田体験農場
- ・安曇野ドリンクフェスタ実行委員会
- ・いきいきクラブわか葉会
- ・NPO 法人 川の自然と文化研究所
- ・明科いいまちつくろうかい！！
- ・(一社)長野県建築士会安曇野支部

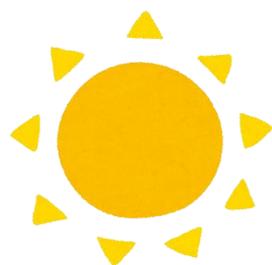


つながりひろがる地域づくり事業実施団体一覧



【地域型組織】

No.	事業名	実施団体名	ページ
1	アルプス区の高齢化対策	アルプス区高齢化を考える会	5
2	世代間交流の機会の創出事業	上押野区	7
3	高齢者の高齢者による 地域のための拡大花いっぱい運動 と拡大カラオケ熱唱大会	本郷睦寿会	9
4	三田体験農場	三田体験農場	11
5	等々力町地域協働（支え合い） 事業	等々力町地区ボランティア会	13



【目的型組織】



No.	事業名	実施団体名	ページ
6	外国人自助・自立支援活動	あづみの国際化ネットワーク (AIN)	15
7	とよしな女声合唱団 10周年記念演奏会	とよしな女声合唱団	17
8	安曇野ドリンクフェスタ	安曇野ドリンクフェスタ 実行委員会	19
9	地域の絆づくり事業	いきいきクラブわか葉会	21
10	熊倉の歴史・文化遺跡の継承	熊倉歴史・文化研究委員会	23
11	語り継ぐ安曇野をめぐる 水と暮らし	NPO法人 川の自然と文化研究所	25
12	小倉地区祭事保存事業	小倉祭り保存会	27
13	明科いいまちつくろうかい！！ 交流事業	明科いいまちつくろうかい！！	29
14	こどものための音楽会Vol.5	こどものための音楽会 実行委員会	31
15	協働作業による 無農薬野菜をめざして	セニョール&セニョリータ	33
16	地域の高齢の方や 子育て世代の交流事業	とまり木寄合所	35
17	高齢者外出支援	NPO法人 からだ堂	37
18	世界に誇る安曇野の景観 シンポジウム	(一社)長野県建築士会 安曇野支部	39
19	地域における食生活の改善事業	食の寺子屋 給食部	41

事業名

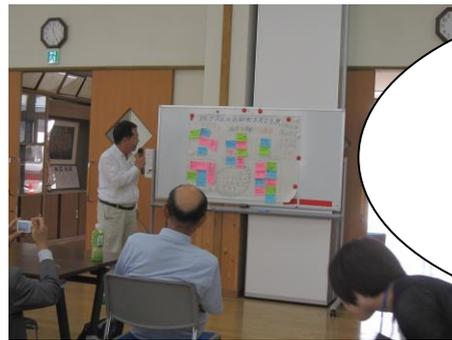
アルプス区の高齢化対策

団体名	アルプス区高齢化を考える会		
代表者名	百瀬 陽子	連絡先	73-2957
活動拠点所在地	アルプス地区公民館	構成人数	15名
事業実施総額	120,104円	補助金額	60,000円
主な補助金使途	健康相談謝礼、イベント協力者謝礼、イベント参加賞、事務用品		
事業実施日・期間	平成28年6月1日～平成29年1月31日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>〔事業概要〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり出前講座の開催 ・健康相談会、情報交換会の開催 ・高齢化を考えるワークショップの開催 ・音楽会、お楽しみ会、ゲーム大会（世代間交流事業）の開催 <p>〔成果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの事業（行事）に多数の区民の参加があり、高齢化の深刻な状況を自らのことと意識し、課題解決は自らが行わなければならないことを感じ取ることができたと思います。 ・世代間交流に主眼を置いた事業（行事）では世代を越え多数の区民の参加があり世代間の交流がはかられたと思います。また、今年度は、中学生が自主的に参加協力してくれたことが大きな成果と感じています。 <p>〔今後の展開〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の更なる協力を期待したいと思います。核家族が多い中、中学生や高校生が区の行事に参加することで、高齢者と顔なじみになり、「いざ」という時に力となってもらえると嬉しいと思います。 		
<p>6月26日</p> <p>『高齢者の健康について考えよう！！』</p> <p>★出前講座</p> <p>★健康相談会開催</p>	 <p>地域づくり課 宮澤課長さんから 地域課題解決へ向けた 取り組みについてのお話</p> <p>包括支援センター地区 担当職員さん、地区担当 保健師さんから高齢者の 健康についてのお話</p> 		

★グループディス
カッション



老いも若きも(?)
一つのテーブルを
囲み高齢化に伴う
区の課題を出し合
いました。



各グループから出され
た意見の発表会
ちなみに、発表している
人は御年取って、7?歳

8月14日、15日

夏祭りにおいて

★音楽会開催

★ゲーム大会開催



みんなで、楽しく音楽会

夏だっ!!
祭りだっ!!
かき氷、食べ放題



かき氷を作っているの
は中学生です

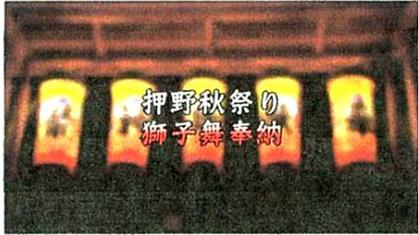


夏だっ!!
祭りっ!!
スイカ割り

事業名

世代間交流の機会の創出事業

団体名	上押野区		
代表者名	大石 昭明	連絡先	62-3693
活動拠点所在地	安曇野市明科七貴 4115-1	構成人数	23名
事業実施総額	200,000円	補助金額	100,000円
主な補助金使途	DVD製作の編集費用・DVD全戸配布制作費用		
事業実施日・期間	平成28年6月1日～		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>【事業概要】 子ども数の減少、交通通信機関の発達等による生活圏の拡大で、今までの地域共同体が果たしていた機能から、スポーツなど地域外で目的を同じくする人たちの機能共同体が構成され、親世代との価値観・生活感の違い、社会の急激な変化により、人々の地域に対する親近感の希薄化や近所の人々の親交を深める機会不足、他人の関与を歓迎しない人の増加など、地域共同体が果たしていた機能が低下しております。このような状況の中、世代間交流と人々の親交を深める機会の創出事業として、地域の成り立ち・八幡宮の成り立ち、お祭りの内容等を正確に伝えてゆくため、明科町史に基づき映像化し、DVDを全戸に配布しました。配布により、こうした活動が地域を見直す機会とし、お祭りの持つ不思議な力により、多くの人々がお祭りに参加することにより、お互いに強い絆で結ばれ、地域が一つにまとまりながら発展していくことができるのだと思います。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> • DVDの製作により、言い伝えによる歴史認識では個人個人の違いがあるため、明科町史に基づき編集し、伝統文化を正しく後世に伝えることを可能にした。 • 祭りの力で伝統文化をつなぐ重要性や使命感がでてきた。 • 忘れがちな地域の歴史、伝統文化など関心を引き起こす機会となった。 • 複雑多岐な住民により成り立っている地域をまとめる上で、お祭りは大きな意義がある。 <p>【今後の展開】 氏神様のお祭り・押野そば祭り・押野紫陽花祭り・押野タケノコ祭りなどのお祭りのイベントにより、関わり合いを通じて、人々の優しさや温かさに触れ、地域に愛着を深める機会とし、世代間の交流と人々の親交を深めてゆく。</p>		

	<p>【事業の製作内容】</p> <p>①押野の成り立ちと八幡宮の成立 ②押野正八幡宮 ③上下押野の幟旗 ④正八幡宮ご神木 ⑤子供ちびっこ相撲大会 ⑥昔のように屋台出店が無く交友会の皆さんにより出店 ⑦押野正八幡宮次第 ⑧浦安の舞 ⑨押野祭囃子・獅子舞保存会 ⑩天王原遺跡（八坂神社） ⑪穂高神社造営への奉仕 ⑫押野祭囃子・獅子舞のルーツ ⑬獅子舞演舞の流れ ⑭DVD 製作に関する参考文献〈明科町史〉</p>	
<p>製作した写真</p> <p>八幡宮入口の灯籠</p> <p>八幡宮の舞台</p> <p>上下押野の幟旗</p> <p>八幡宮ご神木</p> <p>ちびっこ相撲大会</p> <p>浦安の舞</p> <p>獅子舞のルーツ</p> <p>獅子舞奉納</p> <p>穂高神社への奉仕</p> <p>獅子屋台</p>	    	    

**高齢者の高齢者による地域のための
拡大花いっぱい運動と拡大カラオケ熱唱大会**

団 体 名	本郷睦寿会		
代 表 者 名	矢下 肇	連 絡 先	
活動拠点所在地	安曇野市穂高 6485-4	構成人数	72名
事業実施総額	240,000円	補助金額	120,000円
主な補助金使途	大型ディスプレイとお花畑づくりの諸費用		
事業実施日・期間	平成28年5月～9月		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>会員増強を目的とし、会員間の交流、親睦を深めるため、お花畑づくりと、拡大カラオケ大会の実施。</p> <p>さらに健康増進と健康寿命の向上のための健康体操を実施。</p> <p>→成果 会員同士のつながりが増え、一体感が醸成された。 定期的なイベントに参加する人が増えて来た。</p> <p>→今後の展開 大型ディスプレイは、お雛祭り、敬老会、などのイベント実行時に利用でき、皆でカラオケや演芸会などで使うと、楽しく盛り上げることができるので継続的に利用していきたい。</p>		

購入した大型ディスプレイ。大勢の人がカラオケを楽しみました。また、DVDを使って健康体操も実施しました。



会員全員で咲かせたお花畑。毎日の水遣りが大変でした。



事業名

三田体験農場

団体名	三田体験農場		
代表者名	臼井美和子	連絡先	
活動拠点所在地	堀金三田地区	構成人数	21名
事業実施総額	175,000円	補助金額	87,000円
主な補助金使途	苗、肥料、加工瓶等の原材料 会場使用料		
事業実施日・期間	平成28年6月～11月末		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>平成5年より堀金三田地区に農村女性が中心となって、育苗や農業技術の勉強会などを活動の柱として地域とのつながりを大切に活動しています。</p> <p>その活動を広げ仲間づくりのため収穫体験・加工体験を行い、農業や食の安全を伝えながら地域の人々との交流を図りたい。</p> <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマトケチャップ作り 三田地区は長年にわたり加工トマトの生産がおこなわれています。完熟したおいしい地元の加工トマトを使いケチャップ作り体験をしました。 ・さつまいもの栽培と収穫体験 6月10日より、うねたて機・マルチャーによる作業の軽量化を学びながら作付けしたことのない新品種を選定し栽培を行いました。7月末除草作業をして、10月初めより収穫体験を行いました。ふかし芋、豚汁や次年度を見据えての芋干づくりをして試食会をしました。 ・夏じゃがいもの栽培と収穫体験 8月中旬に播種作業を行い、3種類の品種を栽培しました。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマトケチャップ作りへの参加は多く、1日の日程を2日に増やしました。園児、児童の参加もあり若い方からもたいへん喜ばれました。 ・さつまいもは良品ができ、自信をもって普及活動ができます。地域の皆さんのほか、JA女性部に声掛けをして募集を行い多くの参加がありました。 ・夏じゃがいもは長雨により収穫量が少なく残念でした。しかし、新品種への取り組みはよい経験となりました。 <p>今後の展開</p> <p>農業者が新品種への挑戦や技術の研修をしながら、地域との交流を深める農業体験、加工体験を行いたい。</p> <p>加工トマトを利用したケチャップを増やしながらか種類も増やしたい。</p>		

さつまいも栽培の続行と品種の選定、芋干し加工への取り組みをした
い。

ただし乾燥機の導入が必須のため、大きな課題は残ります。
夏じゃがいもは技術力を向上して続行予定です。

・トマトケチャップ作
り



・さつまいもの栽培と
収穫体験

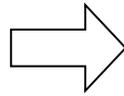


・夏じゃがいもの栽培
と収穫体験

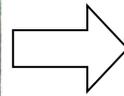


事業名 等々力町地域協働（支え合い）事業

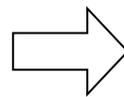
団体名	等々力町地区ボランティア会		
代表者名	勝野 正道	連絡先	
活動拠点所在地	等々力町区内全域	構成人数	37名
事業実施総額	94,420円	補助金額	47,000円
主な補助金使途	活動を充実するための備品購入、原材料購入		
事業実施日・期間	年間（草刈り～除雪ほか、13事業）		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>○相手との要望事項、日程調整などを行い、ボランティア活動から一歩前進することができた。</p> <p>○活動を進めていく段階で、新たに参加する区民がいたこと。</p> <p>○既存組織の枠を超えた、助け合い活動の輪を広げていきたい。</p>		
<p>【活動事例（地域美化部会）】</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  ➔  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 地区内堤防道路草刈（穂高川右岸） </div>			



地区内公園（北城公園）



地区内公共施設（穂高会館）



地区内福祉施設周辺

事業名 外国人自助・自立支援活動

団体名	あづみの国際化ネットワーク (AIN)		
代表者名	丸山 美枝	連絡先	090-1869-9547
活動拠点所在地	安曇野市	構成人数	25名
事業実施総額	396,370円	補助金額	156,000円
主な補助金使途	イベント食材・会場費・備品借用料		
事業実施日・期間	平成28年4月～平成29年3月		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習会 日本のお葬式のマナー～摸偽葬体験 ・生活者のための日本語教室（毎週火曜日） ・外国籍児童生徒日本語及び生活支援（4校 週1～2回） ・はじめての中国語講座 全10回（堀金公民館）受講者9名 ・「あづみの国際 DAY」～安曇野で世界を体験！ 見る・知る・学ぶ・食べる！（穂高会館） 来場者300名 ・農業体験 栽培～収穫～販売（ジャガイモ・サツマイモ・玉ねぎなど） ・生活相談 15件 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習会では実際に日本のお葬式の流れを体験しながら、記帳の仕方やお焼香の仕方などを学び、日本文化や習慣を紹介することができた。 ・「生活者のための日本語教室」では、殆ど日本語が分からなかった人達が簡単な日常会話を理解し、簡単な漢字の読み書きができ成果が見られる。また、困っていることなども自分の力で解決できるようになっている。 ・「あづみの国際 DAY」では、効果的に市民への多文化共生と国際理解に関する情報が発信でき、来場者にも好評をいただくことができた。改善の余地はあるが、大変好評を頂けるものだった。身近で顔の見える国際交流は大変有意義な国際理解にもつながった。 		
<p>★学習会～ 日本のマナー 摸偽葬の体験</p> <p>（参加学習者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インドネシア ・ベナン ・タイ ・中国 ・台湾 	   		

★日本語支援

- 学校で外国籍児童への支援の様子



★はじめての中国語講座

- 堀金公民館
- 講師は台湾出身の市内在住の方です。



★あづみの国際DAY~

安曇野で世界を体験！
見る・知る・学ぶ・食べる！！

(参加国・地域)

- インドネシア
- イギリス
- ベトナム
- 中国
- アメリカ
- カナダ
- ブータン
- ネパール
- ベナン
- アルゼンチン
- タイ
- 日本

母国の文化や家庭料理、民族ダンスや音楽の紹介など300名のみなさんが多文化共生国での体験を楽しみました。



事業名

とよしな女声合唱団 10 周年記念演奏会

団体名	とよしな女声合唱団		
代表者名	草間 昭子	連絡先	73-1160
活動拠点所在地	豊科老人福祉センター	構成人数	28 名
事業実施総額	305,151 円	補助金額	148,000 円
主な補助金使途	施設借上料・印刷費・謝礼		
事業実施日・期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 11 月 27 日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新装改修された豊科公民館を会場に、とよしな女声合唱団創立 10 周年記念演奏会を開催する。そのために、団員全員が役割を分担し、準備を進める。 2 合唱を通して、仲間づくりや歌唱表現力の向上、研鑽に努め、その成果を発表し、健康で心豊かな地域づくりの一助としたい。 <p>【実施日】</p> <p>10 月 5 日 プレコンサート 11 月 27 日 10 周年記念演奏会</p> <p>【成果】</p> <p>以下のとおり、地域の活性化を図り、地域住民との交流を深めることができた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域のコーラス団体や住民に広く呼び掛けて、大勢の皆さんに聴いて頂けた。 2 豊科北小学校合唱部を招待して合唱交流ができた。 3 地元出身の作曲家の作品や東日本大震災をテーマにした作品を紹介できた。「ふるさと」を実感できるようになったと思う。 4 合唱全体のプログラムを設け、会場一杯に歌声が広がった。 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金のおかげで経費の掛かる大きな会場を借りられ、多くの方に聴いてもらえた。演奏を聴いた方から『楽しかった』『元気をもらった』『入団したい』等の声が多く寄せられた。 ・大きな会場での演奏会で運営面等、円滑にいかない場面もあったが、皆で協力でき、仲間の結束が強まった。 <p>【今後の展開】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 楽しく歌うことを通して、明るく元気な仲間づくりを続け、健康長寿を目指したい。 2 毎年恒例の同様祭りに参加協力する。豊科地域コーラスグループ交流会に参加する。 3 行政等の要請に協力、参加していきたい。 		

・「愛唱歌」の中の一
曲を手拍子を入れて
元気に歌っていると
ころ。



・「中山晋平曲集より」
の3曲には、プロジェ
クターで映像を映し、
楽しんでいただきま
した。



・豊科北小学校合唱部
の皆さんと一緒に市
歌を演奏。



・豊科北小学校合唱部
の皆さんの演奏。



・会場の皆さんと「花
は咲く」「ふるさと」
を大合唱。歌声が会場
いっぱいに響きわた
りました。



事業名

安曇野ドリンクフェスタ

団体名	安曇野ドリンクフェスタ実行委員会		
代表者名	宮澤 豊作	連絡先	72-2223
活動拠点所在地	安曇野市豊科 4492-33	構成人数	約 30 名
事業実施総額	524,944 円	補助金額	200,000 円
主な補助金使途	テント、テーブル等（備品レンタル代）		
事業実施日・期間	平成 28 年 5 月 28 日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>安曇野の地域資源である“水”を原料として商品化された地元地区の飲料製品（日本酒、地ビール、ワイン、ソフトドリンク等）を、市民や観光客に味わい、飲んで楽しんでもらいたい。新庁舎も完成し、近代美術館や交流センターもあり、中心地で安曇野が一つになり、観光面にも、地元貢献にも寄与すると考えます。</p> <p>天候にも恵まれ、“水”に関連したソフトドリンクは売り切れ、移動販売車も殆んど売り切れました。参加人員はバラ祭りとの相乗効果も相当あり 5,000 人位だと思います。</p> <p>次回については、続けてというお客様の声が多くあり、更に反省点もふまえ、バージョンアップし、安曇野のイベントの一つにしたいと思います。</p>		
<p>[会場]</p> <p>・メーカーブース 15 社</p>			

・ソフトドリンク売場



・アルプホルン演奏他
8 団体

・移動販売車
7 社



・市民タイムス

BCDEF (1) 平成28年(2016年)5月29日 日曜日

共通版



会場を巡って安曇野の水の味を楽しむ人々たち

安曇野の水おいしき実感

ドリンクフェスタ 初開催

全県で知られる安曇野の水の味を、加えて多くの人が地域で製造される飲料を通じて伝えるイベント「安曇野ドリンクフェスタ」が29日、安曇野市東穂田の穂田公民館で初めて開催された。市内や安曇野、大分県などから参加した約100名が、約10種類の試飲を体験した。試飲は、水がおいしいだけでなく、その味や香り、そしてその水がどのようにして作られているのか、といった点も体験できた。また、試飲だけでなく、水に関するクイズや、水に関する絵画コンクール表彰式なども行われた。

異総体陸上中信勢3種目でV・桜と緑の児童絵画コンクール表彰 26 深志高野球部120周年記念試合 27

・信毎

市

発行所 市民タイムス
〒970-0001 長野県松本市
〒970-0001 長野県松本市
〒970-0001 長野県松本市



安曇野の水を使った飲料製品80種類をそろい、市内で15社 アピールの催し

安曇野の水恵みを満喫

飲料製品80種類そろい
市内で15社 アピールの催し

安曇野の水を使った飲料製品80種類をそろい、市内で15社がアピールの催しを行った。市内の各所で、水を使った飲料製品を体験できる。また、水に関するクイズや、水に関する絵画コンクール表彰式なども行われた。

安曇野の水を使った飲料製品80種類をそろい、市内で15社がアピールの催しを行った。市内の各所で、水を使った飲料製品を体験できる。また、水に関するクイズや、水に関する絵画コンクール表彰式なども行われた。

安曇野の水を使った飲料製品80種類をそろい、市内で15社がアピールの催しを行った。市内の各所で、水を使った飲料製品を体験できる。また、水に関するクイズや、水に関する絵画コンクール表彰式なども行われた。

事業名

地域の絆づくり事業

団体名	いきいきクラブわか葉会		
代表者名	山崎 宏子	連絡先	72-1792
活動拠点所在地	新田、東原集会所	構成人数	60名
事業実施総額	197,000円	補助金額	98,000円
主な補助金使途	謝礼・借上料・原材料・消耗品費		
事業実施日・期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>急速に進行している高齢化。この高齢者が少しでも元気に過ごせるように下記事業を実施する。</p> <p>①元気アップ体操 体力のアップと地域の人々との絆づくり</p> <p>②障害者、ガールスカウトの少女、地域の人々と協力して障害者通所施設に花壇を作る。</p> <p>③カラオケサロンを毎月2回実施することで、楽しく歌い、認知症予防、絆づくりができるように心がける。</p> <p>元気アップ体操により、仲間同士のコミュニケーション、絆づくりが見られるようになった。障害者のことが少しずつ理解できるようになって、言葉かけや思いやりの心が育ちつつある。夢の実の庭に植えた花で通所者に楽しんでもらうことができた。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者とガールスカウトの少女達と交流できてよかった。 ・美しい花壇の花を楽しむことができて良かった。 ・軽体操をすることで、元気がアップし、参加者同士のコミュニケーションができて、絆づくりができたと思う。 ・カラオケサロンで、楽しく歌うことで、認知症予防、絆づくりができた。 <p>◎補助は、来年は終わるけれど、会費で続けていきたい希望が多くある。</p>		

○元気アップ体操

イスに座っての体操で、ばっちり筋トレ。



元気アップ体操の仲間



○花壇づくり

福島を忘れない！！
ひまわりを植えて種を取ります。その種をまた福島へ送るのです。

花苗もきれいに咲きだしました。



立派なひまわりになりました。

花々も美しく咲きました。



○カラオケサロン

楽しくカラオケしました。



事業名

熊倉の歴史・文化遺跡の継承

団体名	熊倉歴史・文化研究委員会		
代表者名	中島 忠	連絡先	72-0630
活動拠点所在地	安曇野市豊科高家熊倉	構成人数	16名
事業実施総額	334,800円	補助金額	167,000円
主な補助金使途	熊倉の土屋稲荷神社、二本松跡の2か所に表示由来碑の建立		
事業実施日・期間	平成28年6月～平成29年3月		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>碑文作成に時間を要したため、完成が12月にずれ込んでしまいました。</p> <p>そのため、当初計画の各種団体等の見学会開催は、平成29年度となりますが、計画どおり実施し、活力と一体感あふれる熊倉の醸成に資するべく最大限の努力をします。</p>		
表示由来碑の建立	<p>二本松跡</p> <p>熊倉街道沿いに松の巨木が二本あり、二本木の地名も生まれた。慶安四年（一六五二）検地時の集落戸数は二・三戸だった。二本松跡の碑は跡地より北へ二〇〇メートル移動。</p> <p>正一位土屋稲荷神社</p> <p>西木戸の土屋同姓にて祀る。新田堰氾濫で現在地に移転。家内安全・五穀豊穡・養蚕繁盛など祈願し、祭日は旧暦二月初午の日！現在は月遅れの新暦三月。</p>		

熊倉歴史・文化研究委員会主催の見学会開催（3月5日）



← 正一位土屋稲荷社

同姓一族によって祀られている屋敷神。
この辺では、祝殿とも呼ばれている。
新田堰の氾濫で現在地に移転。



← 二本松跡

かつての松の巨木二本が集落の「二本木」の地名となる。
県営圃場整備で現在地に移転。



事業名

語り継ぐ安曇野をめぐる水と暮らし

団体名	NPO 法人 川の自然と文化研究所		
代表者名	吉田 利男	連絡先	72-3768
活動拠点所在地	安曇野市全域	構成人数	25名
事業実施総額	213,450円	補助金額	100,000円
主な補助金使途	講師謝礼、パネル作成費、印刷費、通信費		
事業実施日・期間	平成28年6月1日～平成29年3月31日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>【目的】 安曇野市域で水と緑と歴史を結ぶ「回廊」の過去と現在を整理し、「川の果たす役割の理解を促進すること」を目指し、①安曇野市域の水に関わる自然景観拠点や歴史・文化施設、伝統行事等を調べる、②古写真を収集しデータベース化する、③親子水辺観察会を開催する、④安曇野の水に関わる歴史文化と自然に関する講演会を開催する、などを実施しました。</p> <p>【成果】 ○川の自然と文化講演会の開催(語り継ぐ安曇野をめぐる水と暮らし(2)) 小松芳郎先生に「犀川の舟運と街道—交通網の発達—」と題し、物資・文化の交流路としての舟運と街道の果たしてきた役割を解説いただきました。また中村寛志先生に「河原の昆虫たち—その保全に向けて—」と題し、安曇野及び県内の河原に分布するチョウ類の種類とその生態的特徴、保護の状況などを解説いただきました。成果は、研究集録として3月に刊行します。</p> <p>○安曇野市内でのホテル観察会の実施(せせらぎ、中房川ほか) 安曇野市内の河川で、「ホテルも棲める川にはどのような生物がいるか」を知るために、川の多様性に応じて色々な生き物が生息していること、河原の礫の大きさによりそこにすむ水生昆虫も変化することなどを話しました。</p> <p>○古写真の収集と講演会及び安曇野環境フェア2016での紹介 明科及び安曇野・松本の用水堰に関する古写真を収集し、データベースとして整備する作業(電子化)を行いました。また、今後も古写真の収集と整理を進めていくため、講演会および環境フェアで事業内容を紹介しました。</p> <p>【今後の課題】 古写真は、今後とも行政・市民・他団体と活動連携をはかり、協力を得て収集と整理を行い、貴重な地域財産として蓄積していきたいと考えています。写真の背景にある社会・経済的情報等を聞き取りにより補完し、古写真の将来的な利活用や安全な保管について検討していきます。その延長として、水と緑と歴史を結ぶ「回廊」のまとめを進めます。 また、川の自然と人のつながりを考える契機として、子供たちや親子を対象とした観察会を継続的に実施していきたいと考えています。</p>		

第11回「川の自然と文化」講演会

(7月16日：安曇野市役所会議室)

72名のご参加



安曇野市内の川の生き物観察会

「せせらぎ」観察会水生昆虫スケッチ

(8月10日)

中房川観察会

(9月10日)



安曇野環境フェアでの展示(堀金体育館)

水槽の中の生き物探しが大人気でした

(10月8-9日)

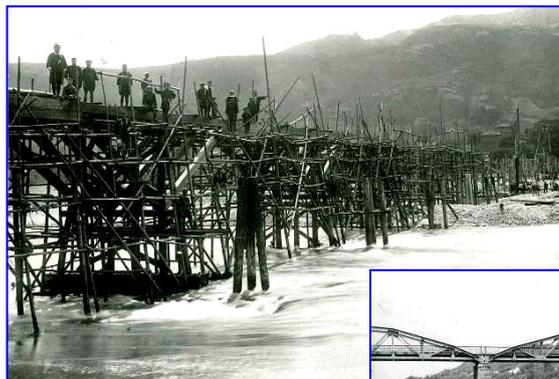


収集した古写真

(一部)

犀川橋

(明治35年?)



犀川舟下り

(木戸橋：昭和初期)



(提供：熊井秀夫氏)

事業名

小倉地区祭事保存事業

団体名	小倉祭り保存会		
代表者名	大倉 健太郎	連絡先	77-3258
活動拠点所在地	安曇野市三郷小倉地区	構成人数	5名
事業実施総額	297,883円	補助金額	122,000円
主な補助金使途	講師謝礼、備品購入		
事業実施日・期間	平成28年4月1日～平成29年2月28日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>●事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷小倉地区における祭事「お祭り」の保存、伝統の継承。 ・地元青年団「若き連」の減少による人員不足を補い、保存会会員によるお祭りの円滑な進行。笛、太鼓の技術講習。 ・お祭り（山車、神輿）の運行サポート。 ・獅子舞、ひょっとこなど笛や太鼓を使用する場面でのサポート。 ・講師からの技術講習。 ・また若年層と高年層との普段かかわることのない世代間交流。 <p>●成果</p> <p>二年目としては、祭事自体うまく円滑に進行したが、問題点も残る結果となった。</p> <p>慢性的な人員不足によるお祭りの進行不備は少しではあるが解消された部分もあった。</p> <p>さらに移住者の方、他地区の方等のあまりお祭りを知らない方が参加してくれたのは昨年よりもいい結果となった。</p> <p>若き連の技術向上も図ることが出来た。</p> <p>また、講師の方、地元の方のおかげで普段かかわることのない若年層、中年層、高年層の世代間交流も図ることが出来た。</p> <p>その中で、お祭りの歴史、伝統を保存会メンバーも含め、若き連も知ることができ、改めて地域に根付いたお祭りの保存、伝統の継承の重要性を各々が痛感することも出来た。</p> <p>●今後の展開</p> <p>地区の方々とうまく連携が取れたが、二年目の今回もまだまだ活動内容を周知できていないところもあるので、これまで以上に広報活動していきたい。</p> <p>若き連メンバーの技術向上、伝統の継承も若い世代に伝えていきたい。</p>		

準備風景

8/20~10/8



太鼓、笛、獅子舞の練習風景



お祭り当日

10/9~10/10

保存会メンバーのスポット的なサポート



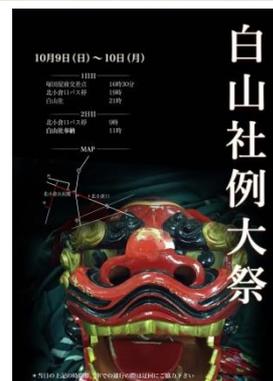
あづみの国際DAY

10/16

他団体との協働



作成したポスター



事業名 明科いいまちつくろうかい！！交流事業

団体名	明科いいまちつくろうかい！！		
代表者名	内川 勝治	連絡先	62-4471
活動拠点所在地	安曇野市豊科 5946-1	構成人数	42名
事業実施総額	89,336円	補助金額	44,000円
主な補助金使途	報償費、事務消耗品、借上料ほか		
事業実施日・期間	平成28年4月1日～平成28年12月20日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>行政との協働組織として3年目に入った段階で、他団体（明科高校等）と協力しながら行政の趣旨・目的に沿った事業を展開しました。</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明科ウォーキング事業：一般市民対象プラン作成、コース下見、運営補助ほか、メイン事業「明賀の歴史を探訪」 ・写真コンテスト事業：明科地域の風景の美しさ等の再発見とPR活動を行う <p>【成果】</p> <p>「明科地域の活性化と、楽しく、安心・安全のまちづくり」を目的として実施した事業の成功により、会員の自主性が育ち、共催団体との連携により市民の輪が広がり、市民組織として強化が図られました。</p> <p>【補助金事業等の効果】</p> <p>明科地域を活気に満ちた地域に再生するため、地域課題や生活課題に目を向け、市民組織として取り組める身近な事業の計画を立案・検討・推進等で実施し、市民の皆さんの要望に少しでも応えられたと思います。</p> <p>【今後の展開】</p> <p>設立から3年が経過し、より地域の課題に目を向けた活動の推進を図るため、より一層の組織強化を図り、自立性を高めたい。 今後は、会員をはじめ明科地域の住民がより参加しやすい企画運営と、環境づくりに工夫を凝らしたい。</p>		
<p>◎明科ウォーキング事業(5月～10月) *明賀の歴史を探訪(7.17) ・人々から忘れ去られようとしている地域を知り、現在の地域の課題を見直すことができました。</p>			

◎写真コンテスト事業 (4月～1月)

* 明科いいとこ撮ろう
かい写真コンテスト表彰式 (11.5)

- 最優秀賞～入選：9 作品
- 11 月以降明科公民館
ギャラリーに入選作品
展示



その他活動実績

※あやめまつり協力
事業 (4月～10月)

- 明科中学校生徒や明科
高校生徒、商工会女性
部など総勢 210 名で
あやめ公園内の除草
作業を実施。(6.11)



※いいまちサロン

事業 (毎月 1 回)

- 人権学習『明科ヒュー
マン講演会』とタイア
ップ事業
『牧美花 心を結ぶ
メロディーと語り』
(6.28)



- 地域課題学習
明科のいいとこ発見!
第 2 弾

『明科駅前周辺まち
づくり懇談会の内容
について』(5.31)
講師に専門家を招い
た勉強会を開催
(右) 難しい話もお茶を
飲みながら和気
あいあいと!



- いいまちサロン 3 周年
『柳澤章子、福島るみ記
念コンサート』(8.30)

素晴らしい歌声の
コンサート!
大勢の皆さんと交流
できました。



事業名

こどものための音楽会 vol.5

団体名	こどものための音楽会 実行委員会		
代表者名	市川 美穂	連絡先	50-5191
活動拠点所在地	穂高交流センター みらい	構成人数	16名
事業実施総額	155,310円	補助金額	60,000円
主な補助金使途	会場使用料、劇団・講師謝礼		
事業実施日・期間	平成29年2月12日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に親しむ子どもたちに発表と交流の機会を提供し、子どもたちの心身の健全な育成を図る ・指導者の交流も深める ・音楽を通じて地域の子どもの絆を深める ・事業を通じて地域の音楽文化の振興を図る <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇と音楽による「サウンドオブミュージック」 <ul style="list-style-type: none"> 第1部 器楽による演奏 第2部 「劇団すずの音」のお芝居と、合唱器楽によるコラボレーション ・公募により新しく親子合唱団を結成、9月より隔週で練習「サウンドオブミュージック親子合唱団」 ・全体が3回のリハーサルと本番を通して交流を深める <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や教室の枠を越えて、音楽を通して小学生から高校生までの子どもたちが協力し舞台を創ることができました ・合唱練習開始時の硬い表情から、半年間での大きな変化とまとまりが見られました ・8名の音楽教室の先生と保護者、会場のスタッフのサポートにより、年間の活動を円滑に進めることができました ・総勢70名近くの出演関係者が、役割を分担し、積極的な活動となりました。 ・舞台を創ることと表現することの楽しさを味わうことができ、のびのびと和やかな雰囲気となりました ・満員の会場と舞台が一体となって繋がることができました 		

● 音楽会の様子



事業名

協働作業による無農薬野菜をめざして

団体名	セニョール&セニョリータ		
代表者名	太田 雅之	連絡先	77-2579
活動拠点所在地	堀金烏川の体験農場	構成人数	7名
事業実施総額	90,571 円	補助金額	45,000 円
主な補助金使途	ハウス借料・肥料種菌・事務用品		
事業実施日・期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>昨年の目的は無農薬野菜栽培を誰でも可能であることを示すことであった。本年は、烏川体験農場は 1a のみであるので、これを 10a に拡大することを目的としたがこれも達成できた。</p> <p>また、現在は構成人数が 7 名であったが、この他子どもにも無農薬野菜栽培を指導・栽培もさせている。</p> <p>今後は無農薬栽培を全圃場（50a）に拡大すること。それと、無農薬栽培を希望する方々を募り一緒にやること。</p> <p>また、ハウスが冬の嵐で潰れたので、出来れば新たなハウスを建て、そこを拠点にしたい。</p> <p>それと、無農薬で栽培しているので、エコファーマーや信州の環境にやさしい農産物認証。他に GAP 認証も取ることを考えている。</p>		
全員での玉ネギの移植（無農薬で、化学肥料も使わない事を説明しながら）			

全員での玉ネギの移植



母親の初めての玉ネギ移植



子ども達の初めてのボカシ作り
(これを作る事が無農薬栽培の基本であることを説明)



事業名

地域の高齢の方や子育て世代の交流事業

団体名	とまり木寄合所		
代表者名	松岡 明子	連絡先	82-2381
活動拠点所在地	安曇野市穂高柏原 940-7	構成人数	6名
事業実施総額	140,000円	補助金額	69,000円
主な補助金使途	講師謝礼、消耗費		
事業実施日・期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>〔概要〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 介護者の健康維持、ヨガ、料理教室、薬の指導 2 行政書士の定期的（月1）勉強会 3 寄せ植え、正月リース作り <p>〔成果〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 週1回（木曜日）13：30～15：30の集会の活動に、定期的に参加し、協力してくれる人ができ、地域のいきいの場になりました。 2 継続してできたことが、スタッフの1人1人の協力の成果 <p>〔今後〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 継続の形態・規模など見直し、次の担い手不足などをどう解消していくか。 2 地域で気楽に足を運ぶことができる場所が身近にあるのは、何よりも大切なことなので、どう継続していくか。 		

☆行政書士さんの
講座



☆リース作り



☆料理教教室



☆ヨガ



☆寄せ植え



事業名

高齢者外出支援

団体名	NPO 法人 からだ堂		
代表者名	吉原 宣親	連絡先	72-5535
活動拠点所在地	安曇野市豊科 5946-1	構成人数	10名
事業実施総額	260,096 円	補助金額	120,000 円
主な補助金使途	中型バス代金・看護師謝礼金		
事業実施日・期間	平成 28 年 11 月 7・8 日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>市民タイムスの広告による応募と健康サロンに参加している会員の皆さんの参加 13 名での 1 泊 2 日のバスの旅</p> <p>補助金により、マイクロバスから中型サロンバスに変更することが出来、車中では足腰にあまり負担なくゆったりとした旅になりました。</p> <p>また、行き帰りの昼食も全て椅子とテーブルを手配頂き、元気な方は歩行の困難な方の荷物を持っていただき皆さんで助け合いながら無事帰宅することが出来ました。</p> <p>今後は、もっと広く告知をしてより多くの方の参加を呼びかけ、外出支援を継続していきたいと思えます。</p> <p>今年は、県内を 2 回ほど計画しており、一人暮らし・外出に不安のある方に参加頂くように広く広報していきます。</p>		
中型サロンバスにて 出発時			

菊祭り及び参拝に向けて
弥彦神社鳥居前にて



参拝を終えて、弥彦公園
のもみじまつり



足腰の弱い方のため
行き帰りの昼食及びホ
テルでの食事も椅子と
テーブルにして頂きま
した



事業名

世界に誇る安曇野の景観

団体名	(一社)長野県建築士会 安曇野支部		
代表者名	小川原 吉宏	連絡先	40-9286
活動拠点所在地	市内	構成人数	110名
事業実施総額	122,760円	補助金額	61,000円
主な補助金使途	チラシ代とパネリスト謝礼		
事業実施日・期間	平成28年10月10日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>(事業概要)</p> <p>安曇野は北アルプスと田園そして屋敷林が美しく、扇状地の湧水 くまなくはりめぐる堰など緑と水の世界で、屈指の景観を世界に誇ります。しかしながら、素晴らし古民家や屋敷林 社叢を代表する風景の中で放置された空き家 ゴミ集積地 廃車の山など 心痛む景観も混在することも事実です。</p> <p>メインテーマを「世界の誇れる安曇野の景観」と題し安曇野建築祭の中で市民の皆様へ安曇野の景観の素晴らしさと問題点を 発信したいと思えます。</p> <p>第一部：基調講演は建築家降幡廣信氏、テーマは「このままでは 捨てておけない 安曇野の景観」でした。</p> <p>第二部はパネルディスカッションでテーマは「みなで話し合う 世界に誇る景観とは」</p> <p>パネリストに酒井倫子さん、加藤史子さん、川崎義祐さんそして堀籠義雄さんでした。</p> <p>(成果)</p> <p>パネルディスカッションは比較的地元ではない、よそ者としての意見が新鮮であった。参加者は120名。</p> <p>(今後の展開)</p> <p>「安曇野の景観を考える会」を拡大し 通年 シンポジウム等 景観の啓発と観光に結びつけた事業を発展させたい。</p>		

世界に誇る
安曇野の景観



基調講演
降幡廣信氏



酒井倫子さん
加藤史子さん



河崎義祐さん
堀籠義雄さん



事業名

地域における食生活の改善事業

団体名	食の寺子屋 給食部		
代表者名	三好 祐子	連絡先	88-8905
活動拠点所在地	安曇野市穂高 5227-15	構成人数	28名
事業実施総額	361,160円	補助金額	180,000円
主な補助金使途	施設借上料、謝礼、印刷製本費、役務費、材料費		
事業実施日・期間	平成28年4月～平成29年3月		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>1. 調味料講座（2016年9月20日 穂高会館調理室）</p> <p>国際中医薬膳師の杉村和江先生による、賢い調味料の選び方の講座をワークショップ形式で開催しました。参加者は約20名。市内の子育て中のお母さん方を中心に、調味料の原料や製造方法、味の違いなどを体験し、日々の食卓における調味料の賢い選び方を学べる講座となりました。また、子育て中のお母さん方の交流・情報交換の場にもなりました。今回は主に、「塩」「醤油」「マヨネーズ」「ケチャップ」を学ぶ講座でしたが、参加者から、「味噌」や「酢」など日本の伝統的な調味料についての講座を希望する声が上がったので、今後のワークショップの参考としたいと思います。</p> <p>2. シュガー・ブルース上映会（2016年12月2日 みらい主ホール）</p> <p>チェコの若手女性監督のドキュメンタリー映画の上映会を実施し、精製された砂糖が身体と精神に及ぼす作用について学べる場を設定しました。120名という多くの方にご参加いただき、7割近い方からアンケートが回収できました。特に多くの子育て中のお母さんに来ていただいたこと（託児が約30名という予想外の大賑わいとなりました）が今回のイベント趣旨に合致していました。上映後の情報交換会にも多くの方に残っていただき、活発な意見交換ができました。今回のイベントを通じて、市民の食と健康への意識の高さを実感できるとともに、それぞれの生活環境や状況に合わせた取り組みを考えるととてもいい機会となりました。また、実際に市販されているジュースや菓子にどれぐらいの砂糖が使われているかを当会員がメーカーに問い合わせ作成した展示もあり、より実生活に活かせるいい機会となりました。今回の目的であった、より健康で、豊かな生活をしていただくための映画上映会としては大成功だったかと存じます。</p> <p>3. 横山タカ子先生の講演会＋料理教室（2017年2月3日池田創造館）</p> <p>郷土料理研究家の横山タカ子先生による講演 『家食は子供を守る最後の砦～四季に寄り添う一汁三菜～』と料理教室を実施しました。前半の講演会で、四季に寄り添う食の設えについて学び、後半の料理教室では実際に一汁三菜を作りました。託児を設けたことで、未就園児を持つお母さんも参加することができ、イベントの趣旨に合致していました。</p>		

参加者からは「信州の豊かな自然の恵みがあり、きちんとした食材や調味料を選ぶことができれば、子育て中で忙しくても、気軽に美味しい一汁三菜を作れることが分かり、今日から早速実践しようと思った」という意見が多く聞かれ、有意義な講演会+料理教室になりました。

4. 男の料理教室（2017年3月14日実施予定）

子供たちの食環境を整える上で、「父親」の役割も大きいことから、NHKカルチャーセンター講師・navelの崎本シェフを講師に招き、「お父さん」が気軽に作れる料理教室を開催予定。

1. 調味料講座の様子



2. シュガー・ブルース上映会の様子



3. 横山タカ子先生講演会+料理教室の様子



【安曇野市 市民生活部 地域づくり課 まちづくり推進係】

住所：〒399-8281 安曇野市豊科6000番地 （2階4番窓口）

電話：0263-71-2494（直通）

FAX：0263-72-3176

E-mail：chiikizukuri@city.azumino.nagano.jp

【市民活動サポートセンター（くるりん広場）】

住所 〒399-8303 安曇野市穂高6658番地

電話/FAX 0263-82-1922

E-mail azumino-skc@bz03.plala.or.jp

URL <http://azumino-skc.net/>

開館 午前9時～午後5時

休館日 毎週日曜日

年末年始（12月29日～1月3日）